

平成26年3月定例会

平成26年度予算可決
(一般会計・各特別会計)

一般質問

【8人の議員が町の考えを問う】

岩崎律夫議員 松村 潤議員 坂井孝次議員
神谷長平議員 原 義裕議員 大野貞夫議員
小島幸典議員 小沢泰治議員

- 可決された議案……………3~4
- 予算質疑……………4
- 一般質問……………5~12
- わたしのふるさと等……13~14

2月の大雪で被害に遭われた皆様に
謹んでお見舞い申し上げます。

議会だより

おひらまち

No139
平成26年
4月30日発行



中野小学校の交通安全教室

3月 定例会

平成26年第一回定例会が、3月7日から19日まで開かれました。平成26年度の一般会計予算や各特別会計予算等の議案が提出され、審議の結果原案のとおり可決されました。

平成26年度一般会計予算

**82億2,500万円の予算を可決
対前年度比10.2%増**

平成26年度の予算規模は一般会計で、82億2500万円、前年度比7億6000万円、10.2%の増額としました。

歳入の主なものとして、町税収入見込額は、町民税や軽自動車税の増収が見込まれる一方、固定資産税や町たばこ税等の減収が見込まれることから、34億3211万6000円(0.6%減)としました。

地方交付税は、前年度と同額の9億4000万円を、また、実質的な地方交付税である臨時財政対策債

については、前年度と同額の5億6000万円を計上しました。

町債は10億3850万円(37.3%増)ですが、その内5割以上は、臨時財政対策債が占めています。

繰入金については、財政調整基金、減債基金、公共施設等整備基金及びふるさと振興基金から合わせて5億4800万円の繰り入れを計上しました。

大型事業を行うことから、町債も増加しております。歳出の大きなものとして、臨時福祉給付金事業に

5924万5000円、子育て世帯臨時特例給付金事業に3800万円、個別接

種事業に7255万9000円、がん検診事業に4507万円、道路橋りょう費に3億5813万3000円、都市計画策定やおうら中央公園北広場整備に5億4232万3000円、老朽化した長柄小学校プール改築に1億5683万5000円、高島幼稚園改築事業に4億2613万8000円、中央公民館建設事業に7398万8000円を計上しました。



高島幼稚園建設予定地

可決された議案

今後の景気動向は回復の動きが広がっていると書かれていますが、現時点で明確な将来像を描くことは難しい状況です。国の国債依存度は限界を超えており、今後これまでのように地方への財政措置が確保できる保証はないと言わざるを得ません。

こうした中、当町の財政状況も、これまで以上に厳しくなっていくと予想されます。予算の執行に当たり、

事務事業の見直しや合理化をより一層推進するとともに、事務執行に当たる職員の資質の向上を図ってまいります。そして、町民の皆さんと共に、大いに意見交換を行いながら、新たな時代に即応した行政のあり方を模索しつつ、行政の執行に当たってまいります。

町民の皆様と議員各位の一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。
(町長の施政方針抜粋)

〔条例の改正〕

邑楽町職員定数条例の改正

平成26年4月1日からの機構改革にあわせて、教育委員会の所管に所属する幼稚園職員を町長部局に移管しました。

職務に専念する義務の特例に関する条例の改正

職員が職員団体の業務に従事する場合、職務専念義務を免除してありますが、現状では勤務時間内に行っていないため、当該条文を削除しました。

邑楽町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する条例

平成26年4月1日から1年間、町長15%、副町長・教育長10%、それぞれ給料が減額となりました。

邑楽町職員の給与に関する条例の改正

平成25年度の人事院勧告による官民の給与格差是正を考慮し、50歳台後半層における給与水準を抑制するため、昇給制度の見直しを行いました。

邑楽町職員の給与の臨時特例に関する条例を廃止する条例

東日本大震災復興支援のための国家公務員の給与減額支給措置が、3月末日に終了するのを踏まえ、町職員給与の減額支給特例条例を廃止しました。

邑楽町社会教育委員設置条例の改正

社会教育法の改正により、本条例に引用されている社会教育委員の委嘱に関する条文が削除されたため、本条例に条文を明記しました。

邑楽町小口資金融資促進条例の改正

群馬県小口資金融資促進制度要綱の改正及び中小企

業信用保険法の改正に伴い、条例を改正しました。

邑楽町公共下水道条例の改正

邑楽町水道事業給水条例の改正

平成26年4月1日からの消費税率引き上げに伴い、下水道の使用料と上水道の給水料金及び加入金等の改正をしました。

邑楽町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する条例の一部改正

長柄幼稚園改築工事請負契約締結事項の変更に伴う事務執行上の監督責任に対し、議員発議により4月1日から1カ月、町3役の給与特例に5%上乘せし、給料が減額となりました。

〔財産の譲渡〕

邑楽町大字中野字谷中60番2の土地

自治会の公民館用地として地域振興に活用するため、谷中地区地縁団体に無償譲渡しました。

〔契約締結事項の変更〕

邑楽町立中央児童館改築工事

契約金額(消費税込)
9964万5000円から
1億45万3500円に変更
(80万8500円増)

※工事概要

床・壁の地下ベニヤ捨張り追加及び事務室カーテンをブラインドに変更

邑楽町立長柄幼稚園改築工事(建築工事)

契約金額(消費税込)
2億7510万円から
2億7959万2800円
に変更
(449万2800円増)

※変更理由

工期延長に伴う諸経費の増



■ 平成25年度補正予算額

会計別		予算現額	補正額	予算総額
一般会計		80億 3,586万円	2,005万円	80億5,591万円
国民健康保険特別会計		32億 5,267万円	1億 0,289万円	33億5,556万円
後期高齢者医療特別会計		2億 0,648万円	780万円	2億1,428万円
介護保険特別会計		17億 1,578万円	2,520万円	17億4,098万円
下水道事業特別会計		3億 2,306万円	△940万円	3億1,366万円
学校給食事業特別会計		2億 5,019万円	△50万円	2億4,969万円
水道事業会計	収益的収入	5億 1,785万円	214万円	5億1,999万円
	収益的支出	5億 1,350万円	281万円	5億1,631万円
	資本的収入	1,663万円	500万円	2,163万円
	資本的支出	1億 5,001万円	51万円	1億5,052万円

■ 平成26年度当初予算額

会計別		本年度予算額	前年度予算額	対前年増減率
一般会計		82億 2,500万円	74億 6,500万円	10.2%増
国民健康保険特別会計		30億 5,810万円	29億 9,639万円	2.1%増
後期高齢者医療特別会計		2億 2,040万円	2億 0,318万円	8.5%増
介護保険特別会計		17億 7,174万円	17億 0,100万円	4.2%増
下水道事業特別会計		3億 0,593万円	3億 1,226万円	2.0%減
学校給食事業特別会計		2億 4,883万円	2億 5,040万円	0.6%減
水道事業会計	収益的収入	5億 4,626万円	5億 1,785万円	5.5%増
	収益的支出	5億 2,661万円	5億 1,547万円	2.2%増
	資本的収入	1,215万円	1,663万円	26.9%減
	資本的支出	2億 2,284万円	1億 5,121万円	47.4%増

■ 新年度予算質疑(要旨)

新年度予算について、活発な質疑が行われました。以下は、抽出した項目の要旨です。

Q 神谷長平議員 鶴土地地区画整理は一大事業であるが進捗率が低い。地域の個人財産が制約される状況にあるので、早く進めてもらいたい。

A 町長 仮換地指定の場所から順次進めている。新年度予算には、5件の家屋の移転費用を計上した。

Q 小沢泰治議員 中央公民館建設予算として、設計費等7000万円を超える額を計上しているが、見直し、方向転換を願いたい。

A 町長 中央公民館の建設にかかる予算の見直しということだが、議員、町民皆様の理解をいただき、粛々と進めていきたい。

Q 大野貞夫議員 4月から消費税が上がるが、町の負担額はどのくらいか。

A 町長 26年度一般会計全

ての概算では、約6000万円を見込んでいる。基本的には社会保障に関するものに充当し、社会保障費の充実を図る。

Q 小島幸典議員 社会教育の観点から、中央公民館設計競技者の選定について、専門学校生や設計業務に関わる若い人達に参加するよう、広報やインターネット等で発信すべきでは。

A 町長 貴重な税金を使わせていただくので、十分参考意見として伺っておく。

Q 田部井健二議員 設計者選定競技は7業者を選び、不採用の6業者に対し報償金を支払うと聞いているが、選定方法が変わったのか。町長は、はっきりと言うべきだ。

A 町長 考えは変わっていない。

一般質問

一般質問は、3月10日及び11日に行われました。質問には、8人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

高齢化と介護予防について

岩崎律夫議員 超高齢化の進展で、医療・介護の費用は増え続けている。高齢化率が平成25年9月で24・

9%、4人に1人が高齢者だ。介護保険特別会計予算は、平成24年度16億4100万円、平成25年度17億4100万円の見込みである。要は高齢者に健康寿命を長く維持していただき、結果、医療、介護費用が抑制できれば一番いい。介護予防事業として町が取り組んでいる運動教室で、どうやって運動人口を増やしていくのか。

保険年金課長 介護が必要となる恐れの高い人、生活機能の低下が疑わしい人を対象に運動機能向上として足腰筋力アップ教室などを

行っている。健康教室では、保健師や栄養士等による講話と実技を行っている。

岩崎律夫議員 介護予防に力を入れる時代である。財政面でも負担になり、知恵を集めて取り組むべきだ。

町長 健康維持には、運動が大変効果がある。高齢者を対象に、たけのこクラブ（年間を通して軽スポーツを体験）や生き生きクラブという講座も開いており参加者も多い。元気に生活できる体制づくりが必要だ。

元気に生活できる体制づくり

岩崎律夫議員 各種がん検診の受診率が肺がんの59・1%を除くと物足りない。国では新しくコール（受診勧奨）、リコール（再勧奨）という仕組みがスタートするが、これで安心ではない。重症疾患発症者の3分の2は未受診者である。一人でも多くの受診者を増やす努力が必要だ。

岩崎律夫議員 各種がん検

岩崎律夫議員 国では地域包括ケアシステムの構築に乗り出している。在宅での医療、介護が究極の狙いだ。今町で課題として考えていること、どういう準備を進めていこうとしているのか。

保険年金課長 2025年を目前に、医療、介護、予防、住居、生活支援が一体的に提供されるシステムの構築を実現させるため、各方面のネットワークづくりが重要で、地域ケア会議の

創設が一つの課題である。医療、介護連携については、昨年立ち上がった館林邑楽在宅医療介護ネットへの参加により、その方向性を模索できればと考えている。

岩崎律夫議員 地域ケア会議、医療、介護の連携も含めて、いつ頃までに準備を終えたいか。

町長 館林邑楽在宅医療介護ネットで町職員も一緒になって取り組んでいく。また、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネージャー、行政、その他医療・

岩崎律夫議員 地域ケア会



保健センターでの健康教室



邑楽町立図書館の雑誌コーナー

雑誌スポンサー制度の導入について

介護に携わる方々が、共同によって在宅介護チームを編成し、地域包括ケアを進めていく。町では特別養護老人ホーム建設を県に要望している。この施設は、地域の方々が一体となつて、介護を必要とする方々への支援をすることが求められる。

松村 潤議員 独自のアイデアで図書館の魅力を増す取り組みを実施している自治体が増えている。そのアイデアの一つに「雑誌スポンサー制度」がある。これは雑誌の購入費をスポンサーに負担してもらい、その代わりに雑誌の最新号にかけるビニールカバーの表面に、そのスポンサー名のステッカーを張り、裏面には広告を載せるものである。そこで質問したい。図書館の図書資料購入費は年間いくらか。

教育長 平成25年度は、図書費、視聴覚資料購入費を合わせて885万4000円である。

松村 潤議員 そのうち、雑誌は何種類購入し、その費用はいくらか。

教育長 購入している雑誌の数は125点、寄贈を入れて157点である。雑誌の購入費は、平成24年度の実績では年間約130万円である。

松村 潤議員 雑誌の最新号での広告は、多くの人の目に留まる可能性が高く、宣伝効果が期待できる。町にとつて新たな財源の確保につながる、企業にとつては自社のPRとともに、社会貢献ができる。また、町民にとつてもサービスの向上につながる有効な施策として注目される。この雑誌スポンサー制度の導入についてどのように考えるか。

教育長 町の財源確保にもつながり、広告する方にとっては宣伝効果が高く、また町民にとつても利益があるということ、大変良い制度であると感じる。先に行っているとこの情報をしっかりと集め、検討し、前向きに進めたいと思つている。少し研究する時間をいただきたい。

松村 潤議員 この雑誌スポンサー制度は、民間の協力を得て、図書の充実を図るといふことで財源はいらぬ。すぐにでも始められるのではないか。先日、埼玉県上尾市と行田市へ行ってきた。上尾市では、NPO法人が雑誌提供を希望する企業を仲介し、職員が企業と交渉するといふ、NPO法人と職員が二人三脚で推進している。行田市でも年間目標を決め、館長はじめ職員が一致団結してスポンサー獲得に頑張つている。両市とも病院、建設、飲食、金融関係から協力を得て、

少しではあるが経費節減につながつているとのことである。群馬県内ではまだ導入事例はないが、邑楽町で導入すれば県内初となるスポンサー制度をぜひ早急に導入すべきと考えるが。

情報を集め 検討したい

教育長 NPO法人と職員が連携する、目標をしっかりと決めて向かつていく等々よい方法を聞かせていただいた。先行しているところの情報を集め検討したいと考えている。

松村 潤議員 町長はどう考えるか。

町長 教育委員会と十分詰めた中で前向きに考え、今後の課題として進めていく。

その他の一般質問

- ・ 広告事業の推進による財源の確保について
- ・ 学校での児童生徒のアレルギー対策について

少子化対策について

坂井孝次議員 行政を担当

されている皆さんは、安全で住みよい町をつくるために、たくさんの問題に直面されていると思う。そこで長期的な観点に立つての少子化問題について質問したい。20年後、邑楽町で大きな社会問題になると予想されるものは何か。

福祉課長 このまま進めば今世紀の半ばには、日本の総人口が1億人を切るとの予測もある。また、3人に1人が高齢者になる。大変な社会問題だ。

坂井孝次議員 少子化の変化はゆっくり進むので、気がついた時には手遅れになつてしまうケースを心配している。手の施しようがなくなつては困る。そこで行政の透明性を高める、町民に知っていただくために、問題点と国で検討されている政策について聞きた

い。

福祉課長 一般的に社会保障の制度自体が維持できなくなるような心配がある。それから、子ども達の社会性の低下といったことも考えられる。また、若い人たちが減少するため、生産年齢人口が少なくなり、当然経済活動も停滞する。そうなる自治体などにおいては、税収面で影響が出てきて、いろいろな面で活力も無くなる。

坂井孝次議員 このまま少子化が進むと、今までのような生活がもはやできないというふうを感じる。国としてどのような対策がとられてきたか。それによつてどのような効果があつたか。**福祉課長** 平成に入つて、合計特殊出生率1・57ショックがあつた。その後平成6年にエンゼルプラン。平成11年に新エンゼル

プラン。平成15年に次世代育成支援対策推進法・少子化社会対策基本法。平成16年には子ども子育て応援プラン。昨年の6月には少子化危機突破のための緊急対策として、子育て支援、働き方支援、結婚、妊娠、出産支援対策が行われた。どんな効果があつたかとの質問だが、「一定の成果はあつた」と考えている。

坂井孝次議員 しかし、少子化の流れは変わっていない。私は子育てをしている人の意見が本当に生かされているかが問題だと思う。第1に子育て中の人との話し合いから現状の問題点を共有する事。第2にお金の問題。第三子が生まれたら10万円のお祝金が出ているが、「えっ、100万円」とびつくりされるような投資が必要だと思う。第3に宣伝が必要。子どもが誕生した時に花火を上げるなども宣伝の一つだが。

出産祝金について

検討

町長 多くの町民と話し合いの機会を持つべきだという事は大事なことである。また、第三子出産祝金については、環境が整えば検討

行財政運営について

神谷長平議員 公共用地の活用について、平成25年2月に旧給食センター跡地の売却を予定したが、入札参加者の辞退により不調に終わった経緯がある。今後、利用度の低い公共用地の売却予定はあるのか。

公共用地の有効活用

町長 今後の状況によつては、いろいろ相談しながら公共用地の有効活用も必要ではないかと思つている。

神谷長平議員 第五次総合

課題になる。花火については時期や周囲の環境等も考えなければならぬ。



計画では「社会情勢の動向に留意し、自主財源の確保と依存財源に努めます」とある。そこで公共用地、利用度の低い旧給食センター跡地や旧役場東側駐車場地等を売却してはどうか。そして、将来を見据え、中央公園の周辺に代替地を求め、施設利用者の利便性を考えた土地利用を図るべきではないのか。**町長** 旧給食センター跡地の売却は、入札参加者の辞退によつて実行には至らなかった。その後は一般企業に資材置き場として貸し出しを行い、財源としている。



旧給食センター跡地

現在は地価が下がっており、公共用地を少しでも高価な価格で買っていたら、旧役場東駐車場跡地は、現在小学校のいろいろな催しがあった折に、駐車場として活用している。また、公共工事の資材置場等でも利用している。今後は有効に活用できるような道が見えてくれば、その時点で検討していきたい。

神谷長平議員 旧給食センター跡地は、25年度3月議会補正予算で土地代金として約131万6000円の土地建物貸付収入が計上された。しかし、この土地を第三者に売却すれば、固定資産税や都市計画税でこれに匹敵する収入はある。土地の価格が安い時に分譲するよりも、高い時に分譲したいということだが、安いときに売れば反面、土地は安く買える。高い時に売れば、高い土地を買うことになる。旧役場東駐車場跡地については、小学校の授業参観とか諸々の事業のときにも使っているが、土地を遊ばせておけば固定資産税が減収になる。財政が厳しい折、時代に合った対応を考えていかないと、だんだん厳しい財政事情になってくる。

町長 公共用地を分譲するには、町に土地開発公社がある。貴重な意見として承り、今後進めていきたい。

邑楽町都市再生整備計画事業について

原 義裕議員 中央公民館建設整備事業について、平成26年度予算の中で、中央公民館の基本設計及び実施設計委託料として約7000万円計上しているが、これからの整備スケジュールを生涯学習課長に改めて聞きたい。

生涯学習課長 予算案には、設計者選定のための報償金等の経費も計上してある。議会会で予算が承認されれば、新年度で設計者の選定協議を行い、設計者を決定するとともに、基本設計に着手したい。

原 義裕議員 27年度と28年度に、どのような整備スケジュールがあるのか。

生涯学習課長 27年度と28年度の2力年で工事を予定している。金額的には、27年度に前払いとして約4割、28年度には6割を支出する予定である。ただ、26年度中に実施設計まで完了する保証が無く、厳しいかと感じる。

原 義裕議員 町長に聞きたい。当初の事業費は15億円から16億円で、議会からの申し入れに対し、「趣旨を最大限尊重し、可能な限り抑制の努力をする」と約束した。これについて再度確認したい。

町長 事業費については趣旨を最大限に尊重し、可能な限り抑制に努めていく。

原 義裕議員 建設に当たり、町長が公約した町民との一体感を実現する思いを再度聞かせて欲しい。

町長 以前、この計画については請願があり、議会では採択された。近年では多くの方から公民館建設に寄せる要望・要請があった。自ら勉強して文化活動を高め、町づくりに参加してい

ただきたい。

原 義裕議員 北広場整備事業に6500万円の計上がある。北公園の整備と違うが今後の整備スケジュールを聞きたい。

27年度に向けて
整備

町長 都市再生整備計画に基づく事業で、管理棟の設計管理委託料500万円と新築工事4600万円、照明器具23基1400万円



整備が進む北広場

で、順次27年度に向けて整備していく。

原 義裕議員 管理棟が北と南にできるわけだが、南の管理棟は解体するのか。
町長 有効に考えたい。この地は野外活動や情報発信の場、そして散歩される方の休憩の場と考えられる。

原 義裕議員 管理棟事務所をリフォームして、町民の憩いの場、お茶が飲め、情報発信でき、福祉作業所で作ったプリンやクッキー等を紹介・販売できる場にしていただきたい。
町長 施設を有効に活用したい。担当と協議して進めていく。

原 義裕議員 ぜひとも、よろしく願いたい。また、中央公園管理棟北の広場を交流の場にして欲しい。
町長 過去に、野外活動の場とした経緯はある。皆さんが利用できるよう研究していく。

中央公民館建設に至る経過と今後の進め方

大野貞夫議員 中央公民館建設について、私達議員は全員協議会の中で町の考え方を聞き、議会での勉強会や建設検討委員会の経過報告等により、理解をしている。しかし、まだまだ多くの町民が詳細な中身について深く理解しているか疑問に思う。町民の中で、この問題がどのように受けとめられていると思うか。

十分説明し進める

町長 中央公民館の建設は、大変長い時間をかけてつ、今日まで来ている。過去、町民の代表である議員からも採択された結果もある。その後、多くの町民から要望という形で出されたことを踏まえると、その活動の拠点となる公民館は必要と思う。これから十分説明し、進めていきたい。

大野貞夫議員 公民館建設問題については、私の選挙公約の中にも掲げてきた。現在、町の文化活動は、非常に活発にされている。そういう点では、この場所を拠点として、文化や芸術の発信基地として確保することが必要であると私も認識している。その後、この事業に対して40%の補助金がつくとの話が出てきた。15、16億円の範囲内というところだが、身の丈に合った公民館でよいというのが私の従来からの考え方である。そういう点では年間の維持管理費がいくらかかるか、試算があるのか。
生涯学習課長 一般的に言えるのは、現在の邑楽町公民館が1500㎡で、純粋な管理運営経費が1100万円位かかっている。今回の規模が約3000㎡程度で、単純に2倍にすると2200万円位かかると思



中央公民館建設予定地

う。今後、設計が進む中で、維持管理費が減るように心がけることが大事である。

大野貞夫議員 施政方針の中に「住民の自主的な活動機会の提供と各世代の課題に即した学習、人権を大事

にして心豊かにする事業を
実施し、地域の連帯感醸成
と協働の町づくりを推進し
ます」とある。ただ1つネッ
クになることは、ホールの
問題が大きな比重を占めて
いるのではないか。公民館
というよりも、逆にホール

ということの中で、話がす
り変わったのではないか。
今の計画では500席と出
ているが、身の丈に合った
規模からいくと、そんな大
きなホールは必要ないと思
う。

町長 計画の中では350
席という話も出ている。折
りたたみ式の椅子を利用す
ることによって、最大50
0席ということが検討委員
会の中では出されている。

大野貞夫議員 今後の課題
として、公民館活動の一番の
要件は、人員配置の問題に
なると思うが。

町長 当然専門的な知識、
専門的な問題について状況
を把握していかなければな
らない。社会教育主事の資
格を取得させるといふ考え
方で、職員を指導していき
たい。

その他の一般質問

・大根村交差点の通学路安
全対策について



The Lounge
— 休憩室 —



長島 映夫
(秋妻・17区)

地域と共に

昨年、45年勤めた会社を退職してセカンドラ
イフをスタートさせました。在職中は県外への
通勤のため、家にいる時間が少なく、週末のみが
地元の人間でした。

そんな生活の中で、消防団員・地区の体協役
員・青少年育成補導推進員等の活動に参加する
ことができ、地域の素晴らしさ・地域との繋がりの
大切さをより強く認識する様になりました。

自分の時間が多く持てるようになった現在、
地域の2つのボランティアグループに入って活
動しています。主な活動内容は、地域の美化活
動として草刈りや花木植栽、親睦の場として芋
煮会や神社の祭り、ウォークラリー等を行って
います。この親睦活動はグループ仲間と協力して
準備を進め、地域の方々に参加していただき、笑
顔飛び交うひと時を過ごしてもらっています。

これからも地域文化の伝承と楽しい田舎づく
りに活動が続けていきたいと思います。

公民館建設に向けて運営費の予算計画は

小島幸典議員 中央公民館建設検討委員会では維持管理を検討したか。

副町長 設計段階から省工ネに配慮し、太陽光発電、夜間電力を活用した建物設計にし、消耗品の交換等電球等のメンテナンスフリーや人件費削減のため、今、3公民館での運営を中央公民館一館に集中し、経費を少なく、少人数で管理できる設計にしていこう。

小島幸典議員 邑楽町公民館は年間約3317万円、長柄公民館は約1965万円、ヤングプラザは約3120万円、3館で約8400万円の管理費である。中央公民館のランニングコストをどのようになっているか。
町長 再生可能エネルギーを十分活用する。特に太陽光発電で、電気料等を削減する。また3館の職員を集中して、人件費の削減も頑

張っていく。

小島幸典議員 3館を一つにすると、3分の1の経費になると考えている。町長の考えは。

削減に努力

町長 3分の1になるかは、施設の規模に関係する。理想だが、限りなく近づけるよう、削減に努力する。

小島幸典議員 ランニングコストも検討委員会で検討するよう、平成24年12月議会で言っている。3館での職員が1館なら、極端な話3分の1で済む。中央公民館の設計見積もりは、7500万円と出ている。であれば、維持管理費のコスト目標値は。

副町長 今の3館体制の純粋な管理費は2580万円

程度で、臨時職員の経費等を含め3900万円ほどかかる。正規職員分の約4400万円を足すと8400万円になる。今度の計画は、約16億円で約3000㎡、約2倍の施設が整備される。単純に現在の2倍3200万円の経費がかかると、3館の職員を全部集め、人件費の抑制に努め、少子高齢化、町づくりをみんな支えるような教育の推進をしていかなければならない。

小島幸典議員 生活の中で助け合いがなければ、いくら体が丈夫でも心の病気もあり、それだけでは足りない。そういう優しさを公民館で学ぶことが大事だ。自分で使うところは自分で掃除するというボランティア組織を、学校の中で小学生低学年のうちから取り入れることを提案する。
教育長 最近、人と人との関係が壊れてしまったような事件が世の中で起きてい



篠崎 照代
(坪谷・22区)

大好きな春

この間の大雪からあつという間に春の訪れを実感しています。私の周りでも、朝はうぐいすが鳴き、すいせん・こぶし・れんぎょうなど花たちが一斉に咲き始めました。

去年は心に余裕が無かったのか、職場の桜にも目がいかなかったのに、今年は随分と前から、上を見上げては毎日、桜のつぼみの変化を楽しんできました。そしてとうとう待ちに待ったつぼみが開き始めました。

私としては、毎日見守ってきた桜が、花開き嬉しくて、心までいつきに暖かくなりました。

邑楽町にもたくさん自然があります。これからは、新緑や藤の花など色々です。今年は、私も孫と一緒に出掛けるのを今から楽しみにしています。

新しい出発の4月。身も心も伸び伸びと、そして小さな自然にも目を向け、感動できるゆとりをいつも持っていたいと思います。



て、心を痛めている。社会教育、生涯学習をする上で、人と人との心がつながっていくということが大事だと常々感じている。ボランティアを考えたとき、公民館建設に関して経費を抑える点でも、利用団体や地域ボランティアの活用が多少の経費削減につながる

と。中学校の例として、邑楽中ではボランティア活動・職場体験・野菜栽培、南中でもボランティア活動・バザー・職場体験を行っている。

その他の一般質問

・町の封書、封筒裏面に広告記載を

町民無視で強行する町民ホール建設について

小沢泰治議員 町民の負託を受けて議員になっていくわけであるから、議員の責務として、議場という公の場で、町に対する提言、行政に対してのチェックという意味で「一般質問」をさせていただく。そこで、町民無視で強行する町民ホールの建設について質問をさせていただきます。邑楽町は独立した地方自治体であり、第三次、第四次、第五次と総合計画は、理想の形の計画を載せている。経済、財政、町政、町民の数とか子

ば、このような公民館ホールの建設はないと思うが。

皆さんの理解を得て進めている

町長 私は町民を無視して行っているつもりはないし、皆さんの理解をいただいて進めている。

小沢泰治議員 私は、平成24年9月議会で公民館ホールの問題で、町長から話があったが、東毛、両毛地域の各公共施設の利用の現状を説明して「アンケート」をとるように町長にお話したが、どのようなことをしたか。

町長 ほかの議員からも質問を受けたが、私はアンケートをとる考えはないと申し上げた。担当にも指示していない。

小沢泰治議員 開校が昭和60年の南中学校が開校当初と比較すると生徒数が半減している。そういう状況に

あつては、やはり早急に邑楽中学校に統合して満遍なく子ども達が教育を受けられる機会を与える。勉強、文化、スポーツにしても統合が必要かと思う。現在、分散している社会教育施設を合計すると30余ある。南

中学校には、音楽室から芸術文化、スポーツまで施設が整っていて30室余ある。老朽化もしていない。町長がよく40年の耐用年数というが、維持管理、メンテナンスをしていけば1・5倍、1・7倍も長く利用できる。多種多様な活動を一極に集めてというなら、南中学校を利活用すれば十分足りる

と考える。ローコストで社会教育施設の整備ができる。校庭、プール、体育館も利用し、各行政区等の運動会もできる。町民の意向を聞きながら、もう一度考え直していただきたい。

町長 議員の意見として承っております。

その他の一般質問

・義務教育について
・教育施設のこれからの活用について

決議案

議員提案の決議案1件を可決しました。

国道354号沿線の活性化を求める決議案

本議会は、次の理由により国道354号線沿線の活性化を求める。

長年の懸案であった国道354号、東毛広域幹線道路の「大泉・邑楽バイパス」が平成25年9月28日に供用開始されました。また、年内には高崎市から板倉町まで全長58・61kmが全線開通の予定です。これにより、ますます利便性が向上し、交通量も増え、邑楽町を通る人たちがも自ずと増加いたします。南北の道路も国道

議会のうごき

2月

- 6日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
邑楽館林地域施策推進協議会
- 7日 全員協議会
- 13日 邑楽郡町村議会議長会議員研修会
- 18日 東毛広域市町村圏振興整備組合全員協議会
- 19日 館林地区消防組合視察研修
- 25日 議会運営委員会
- 26日 総務教育常任委員会
産業福祉常任委員会
- 27日 全員協議会
- 28日 西邑楽土地開発公社邑楽町事業所審議委員会

3月

- 7日~19日 定例会
(本会議、議会運営委員会、全員協議会、
各常任委員会、広報委員会)
- 13日 中学校卒業式
- 20日 幼稚園修了式
- 23日 保育園卒園式
- 24日 小学校卒業式
- 25日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会
- 26日 群馬県町村議会議長会定期総会
東毛広域市町村圏振興整備組合議会
- 27日 邑楽館林医療事務組合議会
館林地区消防組合議会
邑楽郡町村議会議長会総会
- 28日 太田市外三町広域清掃組合議会
- 31日 邑楽館林医療事務組合議会臨時会

4月

- 2日 広報委員会編集会議
- 7日 小・中学校入入学式
- 9日 幼稚園入園式
- 10日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 15日 広報委員会校正会議
- 18日 総務教育常任委員会
産業福祉常任委員会
全員協議会

122号を利用して桐生市、みどり市と移動が容易になり、東毛地域がより身近になっています。道路交通網の整備が進み邑楽町にとって非常に良い環境が整いつつあります。

しかしながら、現状では邑楽町に集客施設が少なく、町内に足を止めることなく通過していく車が数多くみられます。更に、町内の買物客においては千代田町のジョイフル本田や国道354号大泉・邑楽バイパスの開通により利便性が良くなった大泉町に多数流出している状況です。まちづくりの観点からも、「商業・工業・農業」のバランスをとり、同一町内で「人・物・金」を動かすことが重要だと言われています。日用必需品・食料品などを町外へ求めに行く状況を観ると、邑楽町は商業のウエイトが著しく低い状況にあると考えられます。

群馬県内でも大型ショッピングセンターが毎年のように開店し、多くの人々が来店し、賑わいを創造しています。幸いにも町では以前、邑楽町都市計画マスタープランの中で国道354号沿いに商業施設を想定した新市街地構想を掲げており、将来のまちづくりの一つに計画されています。また、商業施設ができることにより「町民の利便性の向上・雇用の拡大・税収の増加」などの大きな経済効果をもたらします。国道354号沿線に大きな駐車場

スペースを備えた商業施設を誘致できるよう、邑楽町第六次総合計画に位置付けるなど、町の活性化の推進を求めます。



議会を傍聴しましょう

次回の定例会は、6月13日から19日を予定しています。

(開会は原則、午前10時 一般質問は16日、17日を予定)

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでどなたでも傍聴できます。役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様様を中継していますので、お気軽にご覧ください。議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したものは、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館(長柄公民館)、勤労青少年ホーム(ヤングプラザ)に置いてあります。また、ホームページにも会議録全文を掲載していますので、ご覧ください。

URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai> 詳しくは、議会事務局まで 88-5511(内線300)

青森県八戸市

はちのへ



大上 明男
(十三坊塚・6区)

私

のふるさととは青森県八戸市です。邑楽町からは東北自動車道で約650kmですが、羽田空港から飛行機で1時間、新幹線では大宮駅から2時間半と、遠いようで近いようです。NHK朝の連続ドラマ「あまちゃん」で有名になった久慈市には、JR八戸線に乗って1時間半で行けます。

名所としてウミネコの生殖地「蕪島」、馬の放牧芝生の種差海岸があり、風光明媚なリアス式海岸で山の

幸・海の幸が豊富な港街です。イカの水揚げ量は全国2位で、トロール船は演歌を流しながら北海道まで遠洋漁業に出ます。また、B級グルメで評判の「せんべい汁」やウニとアワビのお吸い物「いちご煮」等海鮮料理は絶品です。

工業地帯でもあり、古くから砂鉄が採れ、今では世界的に人気がある南部鉄器が造られています。文化面では、地元農家に根付いた伝統的な踊り祭りの「えんぶり」や城下町ならではの

「やぶさめ」(騎乗から矢を的に射る競技)行事も江戸時代から行われています。近くには温泉地も多く、本当に良いところで、私の自慢のふるさとです。

あなたも八戸を起点として北三陸鉄道に乗り「じえんじえん」を体験してみませんか？



おうちまち
議会だより
No.139



ウミネコの生殖地「蕪島」

編集後記

待ちわびた春の到来です。2月には記録的な大雪により、壊された建物や農作物用ハウス等甚大な被害が発生しました。改めて豪雪対策の必要性を感じた次第です。そして、忘れてはならない未曾有の大震災から3年が経ちました。未だに不自由な仮設住宅生活を強いられている方々や行方不明者のご家族皆さんの心中を察しますと胸が痛みます。一日も早い復興を願うばかりです。

町議会におきましては、3月7日から19日まで(13日間)開催されました。一般質問では、8人の議員が活発な議論を交わしました。また、新年度予算につきましても、熱心な質疑・討論が行われ、可決しました。

町民の要望に応えられる事業等安全安心な町づくりを目指して、議員一同頑張っていく所存です。皆様のご意見をお聞かせ願うとともに、議会だよりの一層のご愛読をお願いします。

(半田記)